



あんしん道あいち 第15号

(社)全国道路標識・標示業協会 愛知県協会

<http://www.ansinmichiaichi.jp>

TEL (052) 241-4515/FAX (052) 252-8156/E-mail [zen-ai@syd.odn.ne.jp]

目次

- ❑ 「非常災害時保安機材供給ネットワーク」
備蓄保安機材を東日本大震災被災地へ……(1)
- ❑ 「東日本大震災被災地への
ボランティア活動」緊急報告……(2)
- ❑ 「不審者警戒中」表示板施工寄付……(4)
- ❑ 「みどりの線は通学路」表示板施工寄付……(5)
- ❑ 子どもを守ろうプロジェクト第2回全国交流会開催……(6)
- ❑ 防犯少年団啓発シート貼付ボランティア報告……(7)
- ❑ 秋の交通安全県民運動について……(8)
- ❑ 交通遺児基金事業……(9)
- ❑ 平成22年度交通安全対策事業報告……(10)
- ❑ 路面標示施工技能士制度について……(11)
- ❑ 平成23年度通常総会開催報告……(12)
- ❑ 平成23年度事業計画……(13)
- ❑ 平成22年度技術研修会開催報告……(14)
- ❑ 愛知県建設部 施工管理講習会開催報告……(15)
- ❑ 会員名簿……(16)



県下11基地の保安機材を集結。陸前高田市へ。

「非常災害時保安機材供給ネットワーク」 備蓄保安機材を東日本大震災被災地へ

社団法人 全国道路標識・標示業協会
愛知県協会会長

前山 達彦

このたびの東日本大震災で亡くられました方並びにご遺族の皆様にお悔やみを申し上げますとともに、被災されました皆様に心よりお見舞いを申し上げます。また一日も早い復興をご祈念申し上げます。

陸前高田市へ 保安機材提供のボランティア

3月11日の東日本大震災は東北地方を初め各地に甚大な被害をもたらしました。当協会としましても発災後ただちに義援金を寄付させていただきましたが、専門業者としての支援の方法を模索いたしました。

被災地ではブルーシートや土嚢袋などの保安機材が不足していると聞き、私どもの会員会社に設けた11カ所の基地に保管してあります保安機材を現地にお届けし復興にお役立てができないか検討いたしました。全標協の仲間であります東北支部岩手県協会にご協力をいただき各自自治体に問い合わせさせていただいたところ、直ぐにも必要との回答をいただき陸前高田市へ寄付させていただくことが決まりました。

そして6月8日保安機材を積み込んだトラックが名古屋を出発。翌9日に岩手県陸前高田市役所にお届けすることができました。被災地におけるボランティアの様子につきましては、本誌P.2～3で報告させていただいておりますので、ぜひ一読下さい。

全国に広がる 「子供を守ろうプロジェクト」の輪

未来を担う子どもたちが交通事故や犯罪に巻き込まれ尊い命を亡くす事件が相次いでいます。平成18年愛知県からスタートした「子供を守ろうプロジェクト」は、四国・北陸・静岡・群馬・東京・新潟など各地に大きく広がってきています。特に通学路における事故が多発していることから第9次愛知県交通安全計画においても「幹線道路の内、児童が40人以上利用する通学路で歩道が整備されていない区間については、路肩のカラー舗装や防護柵の設置などの簡易整備を含めて2013年度までに対策をほぼ完成させる」とありますので、通学路の危険箇所調査や安全対策の提案などを今年度は積極的に取り組んでまいりたいと思います。

本年も社会に貢献する協会として努力してまいりますので、ご指導ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

「東日本大震災被災地へのボランティア活動」緊急報告

(社)全国道路標識・標示協会愛知県協会会長 前山 達彦

「非常災害時保安機材供給ネットワーク」備蓄保安機材を陸前高田市へ

去る6月6日に愛知県下の全基地から保安機材を集結。8日に出発し約1,000Kmの行程を経て翌9日午前中に岩手県協会と合流し、被災地に到着しました。

河川を上ってきた津波により海岸から数キロの地点においても鉄橋が流され、市街地においてはそのすべてが津波により失われ言葉を失う状況でした。岩手県協会からも立看板40基が寄贈され共同のボランティアとなりました。

今回寄贈させていただきました保安機材の概要は以下の通りです。

- セフティーコーン350本
- コーンバー350本
- 土のう袋8,600袋
- コンテナバッグ180梱包
- トラロープ75巻
- ブルーシート計173枚

現地では保安機材も全く不足している状態であり、すぐに有効活用していただけるとのことでしたので、微力ではありますがお役に立つことができました。会員一同の熱い支援の思いもお届けできたのではないかと考えています。

お世話になりました岩手県協会の皆様には心より御礼申し上げます。

今後も保安機材の補充を進めるとともに、愛知県新城市総合防災訓練や各地域防災訓練を通じ、当地における災害に備えてまいりたいと存じます。



言葉を失うほどの被災状況(岩手県陸前高田市市街地)



寄贈保安機材の積み下ろしの様子



寄贈保安機材の積み下ろしの様子



陸前高田市の建築課へ寄贈保安機材の目録を贈呈



立看板を寄贈された岩手県協会の小野寺会長



陸前高田市役所、岩手協会の皆さんと



提供された保安機材



折れたF型標識



逆流した津波で流された鉄道橋

岩手県協会より心温まる礼状をいただきましたので掲載させていただきます

愛知県協会

会長 前山 達彦様、非常災害対策PJ委員長 成田 聡様

この度は、東日本大震災で被災しました岩手に対しまして、大きな励ましを頂き、県民のひとりとして感謝しております。岩手県民を代表して、心から感謝と御礼を申し上げます。また、先ほどは丁重なる御礼のお言葉をお寄せいただき、ありがとうございました。

愛知県協会の先進性につきましては、予めから大きな関心をもっておりましたが、今回の大災害を切っ掛けに、このご縁を頂きましたことを大変うれしく思っております。

わたし共の岩手県協会は、僅か6社の零細協会ではありますが、試行錯誤しながら業界の有るべき姿を追い続けております。これをご縁に、交流を深めるなかで、愛知県協会から多くのことを学んで参りたいと思っております。

岩手県は南部藩20万石の弱小藩でありました。生活環境も厳しく、ただ黙々と日々の生活と戦って参りました。津波をはじめ多くの災害にも遭いましたが「南部のなにくそ」根性で乗り切ってきました。県民性を高村光太郎は「岩手の人々は牛のごとし」といいました。

復興の道のりは遙か彼方ですが、愛知県協会の皆様から頂いた励ましを大事にしながら「南部のなにくそ」精神で頑張る参ります。ありがとうございました。

(社)全標協岩手県協会

「不審者警戒中」表示板施工寄付

子どもを守るうプロジェクト担当副会長 笹尾 和夫

子どもたちを 犯罪 から守る

みよし市へ10枚

平成22年度の新たな取り組みのひとつとして、当協会オリジナルデザインの「不審者警戒中」表示板10枚をみよし市へ対し施工寄付をさせていただきました。

当日は三好上、下両行政区にある児童館にて贈呈から設置までを子供たちといっしょに行いました。このボランティアのコンセプトは子供たちを犯罪から守ることであり、表示板設置による犯罪抑止効果のみならず、地域の方々に対する啓蒙にもお役立ていただけるものと考えて発案いたしました。



みよし市下児童館へ「不審者警戒」表示板を贈呈



設置作業をする前に、児童館の子どもたちと記念撮影



子どもたちと共に取り付け



「三好下児童館」に設置した表示板

「みどりの線は通学路」表示板施工寄付

子どもを守るうプロジェクト担当副会長 笹尾 和夫

子どもたちを 交通事故 から守る

豊田市教育委員会へ20枚

平成23年3月3日桃の節句のこの日、豊田市教育委員会を訪ね、当協会オリジナルデザインの「みどりの線は通学路」表示板を寄贈させていただきました。

庁舎内での贈呈式では、前山会長より寄贈の趣旨を説明させていただき、笠井教育長様へ直接お渡しすることができました。

これに対し、教育委員会様より感謝状と記念品の授与をいただきましたことは、誠に栄誉の極みでありました。



豊田市教育委員会様よりいただいた感謝状と記念品



「通学路」表示板を豊田市の笠井教育長様へ直接贈呈

みどりの線との相乗効果

豊田市役所さまが平成16年度から取り組まれている「みどりの線」による通学路安全対策は、全国的にも注目を集めるほど計画的に整備され、その効果を発揮されています。

通行車両に対し通学路であることをしっかりと認識させることで、この対策効果を更に高いものにできるよう、当協会オリジナルデザインの「みどりの線は通学路」表示板寄贈を提案させていただきました。現在みどりの線が設置してある箇所へ合計20枚の表示板を施工寄付させていただきました。



豊田市青木町に設置した「通学路」表示板(1)



豊田市青木町に設置した「通学路」表示板(2)



豊田市青木町に設置した「通学路」表示板(3)



豊田市青木町に設置した「通学路」表示板(4)

子どもを守ろうプロジェクト 第2回全国交流会開催

子どもを守ろうプロジェクト委員長 本多 徹

愛知から発信 全国へ

静岡県にて第2回全国交流会開催

平成22年11月12日(金)「子どもを守ろうプロジェクト」の第2回全国交流会が、焼津黒潮温泉ホテル アンピア松風閣において開催されました。昨年石川県金沢市で開催されました第1回全国交流会には全国より60名の参加者がありましたが、今回は静岡県、群馬県、東京都、神奈川県、新潟県、石川県、三重県、岐阜県、兵庫県、広島県、香川県、愛知県の12都県協会より88名、地元の来賓14名計102名もの参加があり大盛会となりました。



「子どもを守ろうプロジェクト」第2回全国交流会は総勢102名の参加者

基調講演「世界基準の子どもの安全とは？」

今回の基調講演は、財団法人国際交通安全学会専務理事 警察政策学会理事 厚木市SC専門委員 元長崎県警察本部長の石附 弘様が演壇に立たれ「世界基準の子どもの安全とは？」というテーマでお話しをいただきました。講演の中でWHOの世界認証でもある「セーフコミュニティ」認証制度を紹介されました。セーフコミュニティという考え方は予防安全についてコミュニティをベースとして市民共同で行なっていくというもので、この度日本で3番目に厚木市が認証を受けられたとのことでした。



石附弘様の基調講演の様子

各県の取り組みを報告／次回は群馬県で開催

愛知県・静岡県・群馬県・岐阜県・石川県の各協会からは、各対象小学校のスクールゾーンの安全診断やカラー標示、防護柵等の施工寄付などの平成22年度の活発な活動報告があり、このプロジェクトが全国的に着実に進展していることを嬉しく思いました。次回(第3回)の開催は群馬県を予定し、未来を担う子どもたちの安全を願い更に努力することを誓って閉会いたしました。



愛知県境会の発表の様子



交流会事務局(愛知県)前山会長挨拶



全標協 遠藤会長ご挨拶

防犯少年団KONOHAキッズ啓発シート貼付ボランティア報告

子どもを守るうプロジェクト担当副会長 笹尾 和夫

防犯少年団KONOHAキッズ啓発シート貼付ボランティア報告

「知らない人にはついていかない」防犯啓発シート

今年で4年目を数える当ボランティア活動は、平成22年9月21日名古屋市中村区稲葉地小学校での贈呈式を皮切りに8警察署管内の8小学校に対し行なわれました。縦60cm横90cmの路面シートを多くの児童が利用する通用門などに設置を行っております。設置に際しては児童にも貼付け作業を行ってもらい楽しみながら作業を終えることができました。我々はこの活動を通して子どもたちの防犯意識向上のお手伝いできれば幸いと思い、これからもこの活動を継続してまいりたいと考えております。

◎ 平成22年度 啓発シート施工寄付一覧表 ◎

警察署名	小学校名	住所	警察署名	小学校名	住所
中村警察署	稲葉地小学校	名古屋市中村区靖国町3-20	安城警察署	猿渡小学校	知立市上重原町小針115
中川警察署	常盤小学校	名古屋市中川区小本一丁目15-2	岡崎警察署	広幡小学校	岡崎市広幡町11-1
名東警察署	藤が丘小学校	名古屋市名東区藤が丘54	蒲郡警察署	蒲郡北部小学校	蒲郡市清田町真壇52
半田警察署	英比小学校	知多郡阿久比町卯坂北大平7	豊橋警察署	向山小学校	豊橋市向山西町5-1



豊橋市向山小学校/H22.10.8



中川区常盤小学校/H22.10.4



名東区藤が丘小学校/H22.10.14



阿久比町英比小学校/H22.10.1



知立市猿渡小学校/H22.9.28



岡崎市広幡小学校/H22.9.29

中村区稲葉地小学校での活動の様子/H22.9.21



啓発シートの贈呈



貼付け作業



関係者集合写真

秋の交通安全県民運動について

交通安全運動事業委員長 本多 徹

県民運動に対する私たちの取り組み

交通安全県民運動について

交通安全県民運動は愛知県交通安全推進協議会（会長：神田真秋様）が開催する県民ぐるみの社会活動です。年に4回（春、夏、秋、歳末）開催され交通安全に対する意識付け又、啓蒙活動等があります。特に秋については各地においてイベントを伴い交通安全宣言、啓蒙、啓発活動を大きく開催しております。愛知県協会においても積極的に参加し協会員全員で参加、協力すべく協会内に委員会を設置し様々な取り組みを行っております。

秋の交通安全県民運動について

秋の交通安全県民運動において、当協会は①各地の交通安全県民運動への協会員全員の参加（中村警察署、豊田警察署、津島警察署管内）、②啓発グッズの配布（老人会、幼稚園等）、③その他ボランティア団体主催の交通安全啓蒙運動への参加を行っています。



式典の様子



パレードの様子



秋の交通安全県民運動における啓発グッズ配布の様子

中村警察署管内の秋の交通安全活動について

上の写真にもあるように、協会員全員にて中村警察所管内の交通安全県民運動に参加をしました。当日は一日警察署長の大東めぐみ様の交通安全への呼びかけ、中京幼稚園児によるちびっ子警察官の交通安全宣言、名古屋駅周辺にて交通安全を呼びかけながらのパレード及び当協会の準備した啓発グッズの配布を行いました。

その他交通安全事業委員会について

その他の活動については高速道路安全協議会主催の交通安全活動（これも愛知県と同じ時期）への参加（財）愛知県交通安全協会主催のおもしろ交通博への参加、（財）東海交通遺児を励ます会へ基金の寄付活動等を行っております。

これらの交通安全活動について高く評価され（財）愛知県交通安全協会様より当協会として交通安全功労者団体の表彰を受けることが出来ました。これにおごることなく今後も協会員一丸となって交通安全事業委員会を中心に活動を続けていきたいと思っております。



交通安全功労者団体表彰をいただきました

カーブミラー及び路側標識の清掃・点検

交通安全対策事業委員会の目的

当委員会は、交通安全対策の提案や調査研究及び、交通安全施設の保全ボランティア等を通じて交通事故の抑止、会員各社の交通安全意識の向上を図ることを目的として活動しております。具体的活動としまして愛知県下9建設事務所管内のカーブミラー、路側標識の清掃点検ボランティアを実施しております。

平成22年度《カーブミラー、路側標識清掃ボランティア実施報告》

本年度も10月2日から10月7日までの間、会員47社が参加のもと県下9建設事務所管内においてカーブミラー及び路側標識の清掃、点検ボランティアを実施いたしました。建設事務所担当者様と事前協議を行いご希望や指定路線を伺いながら進めてまいりました。当日は担当幹事を中心として安全ミーティングを実施し3～4名1組になり安全第一で作業を行ないました。



アリネーターの清掃ボランティア



標識の清掃ボランティア



反射鏡の清掃ボランティア

見えやすくなったカーブミラー

山間部に入りますと、カーブミラーが樹木の枝で遮られていたり、鏡面にコケなどが付着して見えにくいものがありました。それらを見えやすい状態にし安全な視界を確保することによりカーブ地点での事故防止に少しでも役立てばという思いで作業を行いました。また同時に支柱や取付金具の状態を点検し、倒壊や落下事故の危険性を除去や軽減を図りました。

ボランティア活動を終えて

交通安全施設が十分に機能する状態で保全されることは、交通事故抑止には欠かせない条件であると考えます。しかし過酷な自然条件の中においては行政側の努力だけでは追いつかないところもあります。そのような部分をわれわれ利用者が自らの手でお手伝いすることで、「安全施設の保全」と「安全意識の高揚」の2つが得られるということは、とても意義深いことでもあります。50社の会員それぞれが安全意識の高揚を図りつつ今回のボランティアを無事に終えることが出来ました。参加頂いた会員各社の皆様へ感謝申し上げるとともに、この意義深い活動を更に質の高いものにしていけるよう今後も努力してまいります。

路面標示施工技能士制度について

標示部会長 長坂 武久

路面標示施工技能士制度について

職業能力開発促進法に基づいた国家検定制度

職業能力開発促進法(昭和44年法律第64号)に基づいた国家検定制度であり、現在137職種が実施されています。路面標示施工技能士制度は、昭和61年から対象職種(単一等級)に加えられ、工事施工者の有する技能を一定の基準によって検定し、合格した者は「技能士」として厚生労働大臣から認定された称号を付与された国家資格です。

建設業法における国の認定

建設業法(昭和24年)法律第100号では、平成10年6月18日付建設省第1359号(現国土交通省)により、路面標示施工技能士は、下記の資格を有することになりました。いわば国土交通省が認定した国家資格といえます。

- 専任技術者となり得る
- 主任技術者となり得る
- 技術者資格として評価対象となっている



中部支部長挨拶

路面標示施工技能士の活用を

路面標示工事を専門的に施工する企業として、技術の向上と「技術者」の地位向上を図ることは、工事の適正な施工を確保するとともに、発注者に良質な建設生産物を提供することになります。

技術と経営に優れた企業が成長することは、地域社会、ひいては国家発展のためにも大きな社会的貢献をすることとなります。

当協会は路面標示工事に対して、能力を有する多くの路面標示技能士が所属している事業者の団体です。



課題は矢印の施工



整然と並んだ施工器具



検定会場の様子



検定の様子

平成23年度通常総会開催報告

総務委員長 野村 義彦

平成23年度通常総会開催報告

▶ 多角的な公益活動で社会から信頼される協会へ

平成23年5月13日社団法人 全国道路標識・標示業協会中部支部 愛知県協会の通常総会がサイプレスガーデンホテルにて開催されました。前山会長からは「子どもを守ろうプロジェクト全国交流会」やそれに伴う公益活動の実施について、また今回の東日本大震災の支援と共に、近年起こりうるといわれている東海地震に備えての愛知県総合防災訓練参加など、防犯や防災の視点からも多くの社会貢献活動を行ない、社会から信頼される専門業者団体として活動に邁進してゆくなどの挨拶をされました。

▶ 出席社数

本総会は会員総数50社のうち45社の出席(委任状 5社)をもって成立いたしました。

▶ 議事内容

- ・ 第1号議案 平成22年度事業報告の承認を求める件
- ・ 第2号議案 平成22年度収支決算報告の承認を求める件
- ・ 第3号議案 役員任期満了につき、選任を求める件
- ・ 第4号議案 平成23年度事業計画案の承認を求める件
- ・ 第5号議案 平成23年度予算案の承認を求める件

▶ 総会におきましては、ご来賓の方々より議案審議に先立ちご臨席を頂き、ご祝辞を賜りました

■ご来賓……愛知県警察本部 交通部交通規制課

課長 石川 智之 様
課長補佐 稲垣 賀史 様

■ご来賓……愛知県 建設部 道路維持課

課長補佐 仙石 忠広 様

3M™ 全天候型溶融式路面標示材 All Weather Thermoplastic (AWT)

「雨降りの夜でも見やすいラインを」

多くのドライバーの希望に応えるべく、3Mが生み出したサンドコアエレメント。従来の高屈折ガラスビーズとも全く異なる雨天性能(屈折率2.4)を持ち、夜間雨天時の視認性向上に貢献します。



3M 住友スリーエム株式会社
交通安全システム事業部

〒158-8583 東京都世田谷区玉川台2-33-1
<http://www.mmm.co.jp/ref/>

カスタマーコールセンター
製品についてのお問い合わせはナビダイヤルで
0570-012-123
ナビダイヤル。市内通話料金でご利用いただけます。
受付時間/8:45~17:15 月~金(土・日・祝・年末年始は除く)

平成23年度事業計画

総務委員長 野村 義彦

平成23年度事業計画

昨年の県下の交通事故死者数は一昨年より30人減少し197人で全国ワースト6位であり、5年連続でありました全国ワースト1位を返上することができました。これは警察をはじめ関係当局と県民が一体となって取り組んだ成果であると思います。しかしながら重症者数は愛知県だけで1,868人もあり、昨年対比5.7%も増加しており依然として厳しい状況にあります。

特に**高齢者(65才以上)の死亡事故**が45.7%と多くその安全対策が急がれると共に、急増する自転車・二輪車事故に対する対策も含め、子どもと高齢者を守る対策が急務の課題とされています。平成23年度も会員の総力を挙げて、交通安全県民運動に積極的に取り組むと共に、交通安全施設の整備を通し交通安全に貢献してまいりたいと思います。

更に「**子どもを守ろうプロジェクト**」においては昨年第2回全国交流会を開催し、愛知県から呼びかけた子供を犯罪や交通事故、災害から守る運動が名実ともに全国に大きく展開されつつあります。本年も防犯少年団「KONOHAキッズ」への支援を継続するとともに、愛知県「児童生徒等見守りネットワーク」へ参加し、未来を担う子供たちの安全確保に寄与してまいります。

災害対策としては予想される東海大地震に備え、本年度も当協会の「非常災害時保安機材供給ネットワーク」の体制を整え地域防災訓練を実施し、また新城市で開催される愛知県総合防災訓練にも参加してまいりたいと存じます。

●●● 社会に貢献する協会として主に以下の活動を展開してまいります ●●●

1 交通安全への貢献

交通安全施設の専門工事業者団体として、平成23年度も引き続き安全技術の研究普及・危険箇所調査・交通事故低減への提案など総力で行うと共に、交通安全県民運動に積極的に参加し県下の交通安全の推進に貢献してまいります。

2 「子どもを守ろうプロジェクト」の事業継続実施

- 1) 各自治体への子どもを守る安全施設の普及をめざしPR活動を行います。
- 2) 愛知県警察本部が設置した防犯少年団「KONOHAキッズ」への協力をを行い、子どもたちの防犯活動を支援します。
- 3) 「子どもを守ろうプロジェクト」本部全国展開推進に協力すると共に、全国各県協会と連携し同プロジェクトの全国展開を推進します。
- 4) 愛知県教育委員会の「児童生徒等見守りネットワーク」に参加し、児童生徒の安全確保に協力します。

3 非常災害時の体制整備

- 1) 「非常災害時保安機材供給ネットワーク」地区別出動班による地域ごとの訓練を実施し、非常災害時出動に備え体制を整えます。
- 2) 愛知県総合防災訓練へ参加し、関係機関とともに地域防災に貢献します。
- 3) 愛知県建設部の備蓄する災害用保安機材の被災場所への設置協力を致します。
- 4) 緊急輸送道路の整備への提案、協力を行ないます。

4 その他の公益活動の継続実施

平成8年から実施してきた交通安全対策事業や交通遺児基金事業などの継続実施(16年目)を致します。



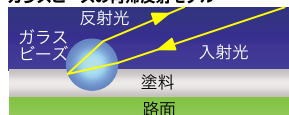
路面標示塗料用ガラスビーズ

路面標示が光って見える夜間の安全走行に欠かせない機能です。

ハッキリと見えるその理由は“光の再帰反射特性”

車の夜間走行において、路面の塗料に埋め込まれたガラスビーズにヘッドライトの光が入ると、その光はドライバーへと効率よく戻っていきます。そのため、路面標示が発光しているかのように鮮明に見えるのです。

ガラスビーズの再帰反射モデル



製品の御案内

- JIS規格ビーズ: JIS規格に適合した信頼性の高い汎用タイプ
 - 高屈折率ビーズ: 高屈折率のため、雨天時でも高い再帰反射が得られるタイプ
 - ビジビーズ: 大粒径のため、雨天時でも高い再帰反射が得られるタイプ
 - 反射輝度測定器: 路面標示の夜間視認性を評価するための光学測定器
- ※ JIS規格ビーズは、国内リサイクルガラスを100%使用しています。

車社会にガラスビーズで貢献する



ポッターズ・パロティエニ株式会社

http://www.pqj.co.jp
E-Mail: info@pqj.co.jp

本社: 茨城県つくば市下河原崎 254-36
TEL: 029-847-7483 FAX: 029-847-0216

営業グループ: 大阪府大阪市北区末広町3-21
TEL: 06-4709-7381 FAX: 06-4709-7382

平成22年度 技術研修会開催報告

研修委員長 舟橋 浩司

平成22年度 技術研修会開催報告

技術の向上と高い品質をめざして

私共(社)全標協愛知県協会では、各専門部会における技術の向上を目的とした技術研修会を開催しております。今年で4回目を数える当研修会には毎回、各官公庁より御担当者をお招きし、専門技術のプレゼンテーションや公益性の高い活動報告などを発表し、それらに対する質疑応答など活発な意見交換がなされ、大変充実したものとなっております。



各官公庁の担当者と意見交換できる貴重な研修会

参加人数

愛知県各建設事務所をはじめとし各市町村の御担当者様62名に当協会員77名を加え合計139名の御参加をいただきました。また、ご来賓として愛知県建設部道路維持課課長補佐の中野錦也様をお迎えし、昨今の道路行政について大変貴重なお話を賜りました。



ご来賓の愛知県建設部道路維持課課長補佐・中野錦也様

研修テーマ

まず、当協会のメインボランティアである「子どもを守ろうプロジェクト」から通学路の安全対策について提案をさせていただきました。次に、各専門部会から下記の内容にて提案や発表をいたしました。

- 標識部会……………道路標識の現状と安全対策について
- 標示部会……………高輝度区画線について
- 防護柵・フェンス部会……………縦横型転落防止柵及び歩車道境界、交差点の防護柵について
- 安全施設部会……………付加機能カーブミラーについて

平成22年度 技術研修会



「子どもを守ろうPJ」の提案をする前山会長

今後の課題

官公庁の御担当の皆様からの専門も年々具体性や専門性に富み、我々専門業者としては更なる技術力の向上や新技術の開発等が要求されていることを痛切に感じることができました。我々に寄せられる信頼にしっかりとお答えできるよう会員一同今後も努力を重ねていく所存であります。

SANYO

人と人、人と街

私たち三陽商会は、交通機材を通して「結びつく」をお手伝いします。



取り扱い製品

路側柱・カーブミラー柱・大型案内標識・信号柱
各種金具・防音パネル・遮音壁支柱・鋼管杭
エポキシ樹脂塗装鉄筋・セキュリティー製品



本社 東京都中央区日本橋1-13-1日鐵日本橋ビル4F TEL (03) 3281-2212 FAX (03) 3281-6632
交通機材部 愛知県海部郡飛島村梅之郷東割149 TEL (0567) 57-0160 FAX (0567) 57-0161
U R L <http://www.sanyoshokai.co.jp>

愛知県建設部 施工管理講習会開催報告

研修委員長 舟橋 浩司

愛知県建設部 施工管理講習会開催報告

平成22年8月26日、ウィルあいちにて施工管理講習会を開催いたしました。講師に愛知県建設部建設企画課より狩谷伸一主任主査様、栗木欣也主査様ご両名をお迎えし、下記の内容についてご講義をいただきました。当日は会員各社の技術者63名の参加で満席となり、熱心な聴講と共に活発な質疑応答がおこなわれました。



会員各社63名の参加で満席となった会場
活発な質疑応答が繰り返されました

講義内容

- ① 愛知県建設部設計変更事務取扱要領改正 (H22.4.1適用) について
- ② 現場代理人の常駐の運用改正 (H22.4.1適用) について
- ③ 土木工事標準仕様書の改正 (H22.4.1適用) について

この度の講習を受け、今後は会員各社上質な施工管理に努めてまいります。



講師の狩谷主任主査様



講習の様子



講師の栗木主査様



三永商事株式会社

本社 〒460-0003 愛知県名古屋市中区錦二丁目15番20号 三永伏見ビル9F
TEL:052-232-5808 FAX:052-232-5838

営業所 ▶ 札幌 盛岡 仙台 東京 新潟 金沢 名古屋 大阪 広島 福岡

創業 ▶ 1976年(昭和51年) 資本金 ▶ 8,000万円

取扱商品 ▶ 道路資材等全般 事業内容 ▶ 道路資材の卸売

三永商事株式会社は創業以来、道路交通環境の整備と業界の発展のため、お客様と仕入先様との信頼関係を基礎に、多くの方々を支えられて全国に10ヶ所の営業所を有することが出来ました。標識・標示・安全用品・防護柵等様々な商品、流通の分野におきまして、お客様のご要望を満たす機能を強化するとともに、時代を先取りした事業展開により業界の発展に貢献して参ります。今後も社員一丸となり頑張って参りますので、何卒、ご支援、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

社団法人 全国道路標識・標示業協会 中部支部 愛知県協会 会員名簿

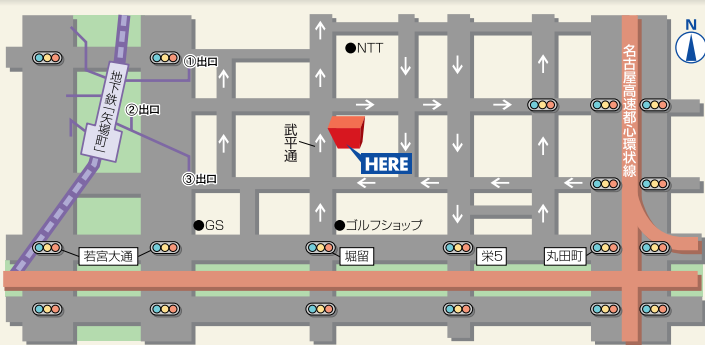
正 会 員	電 話 番 号
(株) アサヒカッター	(052)793-2043
アトムテクノス(株)名古屋営業所	(0586)24-5706
(株) イセヤス 建 材	(0532)33-3303
(株) イワ フ ジ	(0565)43-3555
(株) オカ ム ラ	(0567)65-6050
小 田 鐵 網 (株)	(052)351-5181
(株) キ ク テ ッ ク	(052)611-0680
(株) 京 伸	(0565)33-2141
(株) 金 原	(0532)31-4969
交通企画(株)名古屋営業所	(052)232-5830
サンダイ技建(株)	(0568)43-3221
山和フエンス(株)	(052)832-5411
順天工業(株)	(0565)48-4851
信号器材(株)名古屋営業所	(052)832-2571
スロープガード(株)	(0564)28-0661
セフテック(株)名古屋支店	(052)902-2711
(株)ダイエーディスボウズ	(052)411-3811
(株) 大 恵	(0567)65-3555
大 電 土 木 (株)	(0565)53-3883
中日保安設備(株)	(0587)95-1284
中 部 道 路 (株)	(052)772-6131
中 部 レ ー ン 工 業 (株)	(052)461-3464
寺 部 安 全 施 設 (株)	(0563)57-1800
東 愛 工 業 (株)	(0565)53-2072
(株) 東 亜 製 作 所	(052)891-1711
東 亜 ラ イ ン (株)	(052)624-5071
東 京 戸 張 (株)	(0533)68-7151
東邦ステンレス工業(株)	(0562)33-1676
東 祐 工 業 (株)	(0565)27-6885
東 陽 工 業 (有)	(0565)26-9111
東 陽 テ ッ ク (株)	(052)651-4531
豊 田 (株)	(052)935-5561
西 尾 ラ イ ン (株)	(0563)54-3481
日 道 工 業 (株)	(0569)48-1456

正 会 員	電 話 番 号
(株) 日本道路システム	(0536)23-6120
日本ハイウェイ・サービス(株)名古屋支店	(052)733-1575
日本ライナー(株)中部支店	(0586)71-4155
日本リーテック(株)中部支店	(052)588-0052
阪神装路(株)名古屋支店	(0586)77-1084
富国合成塗料(株)名古屋営業所	(052)353-1859
藤 安 全 施 設 (株)	(0567)95-8038
不 動 フ エ ン ス 工 業 (株)	(052)852-9970
(株) 前 山	(052)841-9250
(株) み どり 安 全 社	(0564)48-2888
美 松 工 業 (株)	(0569)29-2751
名 東 電 気 工 事 (株)	(052)763-2141
名 阪 興 業 (株)	(0566)82-8818
(株)メタルテクノ神戸	(0532)31-6700
森 工 業 (有)	(0565)44-0255
ラインファルト工業(株)中部営業所	(0586)51-6272

賛 助 会 員	電 話 番 号
(株)吾妻商会名古屋支店	(052)745-7407
クリックス愛知(株)	(0532)52-4577
(株)興和工業所	(0569)29-3041
三 永 商 事 (株)	(052)232-5800
(株)三陽商会交通機材部	(0567)57-0160
篠 田 (株)	(058)245-5181
(株)篠田商会名古屋支店	(0568)34-0215
神鋼建材工業(株)名古屋支店	(052)205-9600
住友スリーエム(株)名古屋支店	(052)220-7258
積水樹脂(株)中部支店	(052)961-1571
東 洋 樹 脂 (株)	(0568)79-6123
日鐵住金建材(株)名古屋支店	(052)564-7228
日本ハイウェイ・マテリアル(株)	(0790)64-0551
JFE建材(株)名古屋支店	(052)204-5707
JFE建材フェンス(株)名古屋支店	(052)201-3400

周辺地図

地下鉄矢場町③番出口が便利です。



社団法人 全国道路標識・標示業協会
中部支部 愛知県協会

■お問合せ先

〒460-0008 名古屋市中区栄五丁目19番31号
T&Mビル2階

T E L (052)241-4515

F A X (052)252-8156

E-mail zen-ai@syd.odn.ne.jp

<http://www.ansinmichiaichi.jp>